



桃見台小学校 学校だより

桃 風

令和2年度

No. 18

発行日 R2.11.6

発行責任者 校長 鈴木 哲明

がんばった持久走記録会

11月4日（水）5日（木）6日（金）の3日間にわたり、低・中・高学年に分かれ、学年ごとに実施しました。児童は、これまでに体育の授業や業間の時間に練習を重ね、本番を迎えました。落ち葉が舞い散る中、ももみっこは自己ベストをめざして、精一杯がんばりました。保護者の皆様にも参観していただき、素晴らしい記録が出ました。改めて、応援の力を実感しました。お越し下さいました皆様に御礼申し上げます。体力・持久力は、児童の成長にとって、とても大切です。今後とも、知育・徳育・体育をバランス良く伸ばしていきます。



花壇も冬支度

11月5日には、5年生が花壇の手入れをしました。これまできれいに咲いてくれた草花を抜いて、花壇を整備しました。11月17日（火）には、保護者・地域の皆様と、花の苗や球根を植えます。「花の力で地域を元気に」のテーマのもと、環境美化の心を育て、地域との交流の中で、互いを理解し尊重し合えることをねらいとして活動しています。



<校鑑(こうかん)・野口英世博士について>

本校は、「智・仁・勇」を校訓とし、その3つを兼ね備えた「至誠の人」として、野口英世博士を校鑑とし、正面玄関には、大きな肖像画が掲げられています。来客から、その由来を問われることがあります。博士は、「智・仁・勇」のどの面からも特筆すべきエピソードに満ちあふれています。「勤勉」「努力」「友情」「師恩」「親孝行」そして「勇気」。どれをとっても、感動のドラマがあります。大阪箕面公園にある銅像の設立由来など、涙無くては語れない親孝行の史実です。また、一時帰国時の忙しい合間をぬって、郡山市に住んでいた幼なじみに会いに来たという心温まるお話もあります。まさに「至誠」そのものの生き方です。

本校の創立は、昭和4年4月ですが、博士は前年の5月に亡くなっています。創立準備の段階から、博士の生き方を理想として、第二の野口英世を輩出すべく、地域・保護者・教職員が情熱を持って開校したと推察します。その思いを受け継ぎ、「ももみっこ」は、心身共に大きく成長しています。感染症対策に生涯をかけた博士の生き方を継承し、コロナ後の新しい時代を切り拓く人材を育成するのが、「桃園教育」の重要な課題であると考えています。